

# 部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

部局名	商工政策部	部局長名	田上 正洋
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	8.7億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		28人	9人	37人
うち 自動車 運送事業	(8人)	(7人)	(15人)	

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p>商工政策部は、市内商工業の振興、優良企業の誘致、地域公共交通の整備、川内港における物流・交流の増大により地域経済の発展に貢献するとともに、国際交流の促進を図り市民の国際感覚の醸成に貢献します。</p>	②組織目標像	<p><b>【施策の目標像】</b></p> <p>(1) 中心市街地活性化対策や中小企業支援などの市内商工業の活性化、新規企業立地等により、雇用機会や市民所得が増加している。</p> <p>(2) 甕島航路、バス、鉄道等公共交通網の充実、及び高速交通網との連携により、交流人口が増加している。</p> <p>(3) 港湾整備、港湾機能拡充、国際定期コンテナ航路の充実等により、港湾貨物取扱量が年々増加し、川内港が南九州の国際物流拠点港湾になっている。</p> <p>(4) 市内企業の外国との経済交流が進み、貿易額が増加している。</p> <p>(5) 市民レベルの国際交流が進み、市民の海外渡航者、外国人の本市来訪者が増加している。</p> <p><b>【組織の目標像】</b></p> <p>(1) 協調融和の部内グループ体制ともいえる明るい組織</p> <p>(2) チャレンジ精神、良き競争心、長期的・地球的視点を持った職員の協同体</p> <p>(3) 危機管理が徹底し、何事にも正確・迅速に対応できる組織</p>
---------------------	---	--------	---

# 部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

## 平成23年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
<b>中小企業の振興</b> 【商工振興課】 【企業・港振興課】	(1) ハローワーク川内管内の年度末有効求人倍率 0.55倍以上  (2) 増設中小企業 3社以上	① 中小企業への設備投資補助の周知, 同補助による支援 ② 中小企業者の経営改善資金・運転資金融資に対する利子補助等による支援 ③ 中小企業元気づくり補助金による製造業等への支援 ④ 創業・チャレンジ支援補助金による起業家等への支援	○ ① 4月に商工会議所, 商工会及び金融機関に中小企業支援制度説明会を実施 ・有効求人倍率 0.57 (H23.8) ② 商工会議所及び商工会で借入相談実施 ③ 補助実績: 4件 (692千円) 研修1件, 製品宣伝1件 特許2件 ④ 商工会議所及び商工会で借入相談実施	
<b>中心商店街の活性化</b> 【商工振興課】	(1) 中心商店街空き店舗率 15%以内  (2) 中心市街地1日歩行者通行量 山形屋前 800人以上 タイヨー前 1,200人以上 南日本銀行前 600人以上	① 中心市街地活性化基本計画に基づく事業推進 ② ㈱まちづくり薩摩川内の活性化事業 (定期借地権等を活用したテナントミックス事業等) の具体化支援 ③ 中心市街地大規模未利用地の活用促進 ④ 空き店舗改装補助による小売業等の開業支援	○ ① 第1回中心市街地活性化協議会開催 (8/5) ※借上げ型住宅, 商人塾, テナントミックス事業の進捗状況報告 ・第1回中心市街地活性化協議会幹事会の開催 (9/26) ② 中心市街地テナントミックス調査事業で太平橋通りの空き店舗状況や不動産業者を特定 空き店舗: 32件 管理不動産会社: 12社 ③ 情報収集 ④ 会議所管内: 3件 商工会管内: 1件	

# 部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成23年度

<p><b>農商工連携の推進</b> 【商工振興課】</p>	<p>(1) 農商工連携の取り組み件数 年間 3 件以上</p>	<p>① 農商工連携関連の国県補助制度の周知 ② 農商工連携チャレンジ起業支援補助金による支援 ③ 農商工等連携事業計画認定事業(国)の研究</p>	<p>○ ① 市内の特産品コンクール参加団体(27団体)へ制度周知を行い、併せて市HPに掲載。 ② 新規雇用人件費補助金に係る交付決定1件 ③ かごしま産業支援センターと計画認定状況等について協議</p>	
<p><b>地域公共交通網の整備</b> 【商工振興課】</p>	<p>(1) コミュニティバス利用者数(デマンド交通を含む) 年間 29 万人以上 (2) コミュニティバス平均乗車人数 1 便当たり 7 人以上 (3) 自動車運送事業(甌島における市営バス)の利用者数 年間 5 万人以上</p>	<p>① コミュニティバスの交通利便性向上(路線等の見直し) ② 入来地域デマンド交通(事前予約型乗合タクシー)の本格運行 ③ 市内横断シャトルバスの本格運行 ④ 本土支所地域におけるデマンド交通の導入検討 ⑤ 地区コミ・デマンド運行モデル事業の推進 ⑥ 自動車運送事業(市営バス)民営化移行作業の実施</p>	<p>○ ① コミュニティバスの今後の在り方方針の決定に基づき、平成23年10月から「ゆったりバス(東郷地域)」を3便、「ゆうゆうバス(樋脇地域)」を5便それぞれ減便 ② 平成23年7月から増便(4便)と迂回路線の延長を実施・高齢者向け説明会を開催(4回) ③ 6月からバス停留所(2ヶ所)増設 ④ 平成24年度からの本土支所地域におけるデマンド交通導入を検討中 ⑤ 6月20日から平佐東地区コミ・デマンド運行モデル事業開始 ⑥ 6月9日に南国交通(株)と甌島地域コミュニティバス等の運行に係る基本協定締結</p>	

# 部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成23年度

<p><b>企業の立地促進</b> 【企業・港振興課】</p>	<p>(1) 新設・増設企業 5社以上 (2) 新規雇用者数 125人以上</p>	<p>① 改正後の企業立地優遇制度のPR（HPの充実，インターネット広告，東京モノレール広告など） ② 積極的かつ継続的な企業訪問の実施 ③ 立地企業研修会の開催 ④ 計画的な工業団地整備推進</p>	<p>○ ①・HPのリニューアル ・インターネットによる広告を9月から開始 ・東京モノレールの車内広告の意匠変更，改正した企業立地支援制度のPR ②・改正企業立地補助金PRパンフレット作成 ・県内外企業及び既立地企業の訪問（業況や今後の見込み等意見交換） ③ 下半期に実施予定 ④ 適地調査等実施</p>	
<p><b>川内港コンテナ航路の拡充</b> 【企業・港振興課】</p>	<p>(1) 年間コンテナ取扱数 1万TEU以上 ※TEU=20 フィートコンテナ換算本数 (2) 国際コンテナ航路週2便の安定的継続</p>	<p>① ポートセールスの実施 ② ポートセミナーの開催 ③ 新たな輸出品目の発掘 ④ 川内港を活用した貿易促進</p>	<p>○ ① 企業等へ訪問，ポートセールスの実施 県内87社・108回， 県外17社・19回 ② 北九州地区及び福岡地区におけるポートセミナー（10月6日）の開催準備 ③ 新たな輸出品目発掘のため多方面と協議を実施 ④・9月末現在9,092TEUと過去最高を更新 ・11月中に，年間コンテナ取扱数1万TEU達成見込み</p>	
<p><b>川内・甕島航路の開設</b> 【企業・港振興課】</p>	<p>(1) 寄港地集約時期の決定 (2) 新高速船の設計発注 (3) 高速船寄港地(里港, 長浜港,</p>	<p>① 航路改善計画に係る甕島市民説明会の実施 ② 新高速船の仕様に係る検討，</p>	<p>①・航路改善計画に係る寄港地集約に関する説明会 対象：甕島市民 時期：4月～6月</p>	

# 部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

	<p>川内港) の港湾整備計画(県)の決定</p>	<p>関係機関協議の実施                  ③ 新高速船建造に係る関係機関協議の実施                  ④ 港湾整備に係る関係機関協議の実施</p>	<p>○                  ・ダイヤ改正説明会                  時期：8月                  ②③ 川内甌島航路新高速船討                  委員会の設置                  設置時期：9月                  委員構成：国・県・市・運                  航事業者・利用者代表・学                  識経験者等                  ④ ・県土木部港湾空港課及び                  北薩地域振興局との港湾                  整備に関する定期的な協                  議の実施                  ・川内港の発着場所整備に                  伴う県への要望及び川内市                  漁業協同組合への説明実施</p>	
<p><b>友好都市等との交流</b>  <b>【企業・港振興課】</b></p>	<p>(1) 中国・常熟市友好都市締結                  20周年記念事業の実施                  (2) 韓国昌寧郡との友好交流協                  議書(素案)の決定</p>	<p>① 常熟市来日団の受入れ                  ・公式団                  ・市民旅行団                  ・成人スポーツ交流団                  ② 常熟市への公式訪中団派遣                  ③ 鹿児島純心女子大学と常熟                  理工学院との友好交流協定締                  結に向けた支援                  ④ 常熟理工学院への日本語講                  師の派遣支援                  ⑤ 韓国昌寧郡表敬訪問, 友好交                  流協議書の締結に向けた協議                  の実施                  ⑥ 韓国昌寧郡来日団の受入れ</p>	<p>○                  ① 常熟市来日団の受入                  ・8月27日～31日                  ・市長団5名(本市1泊)                  友好団6名(本市2泊)                  水泳交流団24名                  (本市3泊) 計35名                  ・8月27日, 記念式典・祝賀                  会の実施(約200名参加)                  ・常熟市水泳協会と本市水泳                  協会の交流実施                  ・常熟市水泳交流団において                  民間交流では初めてとなる                  甌島宿泊観光の実現                  ② 派遣期日及び団員の決定                  ・10月26日～29日(3泊)                  ・市公式訪中団17名                  川内商工会議所経済交流</p>	

平成23年度

# 部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

				<p>団 16 名（1 名公式団重複） 市女性交流団 5 名 計 37 名</p> <p>③ 10/27 の調印式に向けた調整事務の実施</p> <p>④ 契約及び渡航等に係る調整事務により、9 月からの赴任が実現</p> <p>⑤・韓国昌寧郡表敬訪問は未実施 ・平成24年度の友好都市締結に向けた事務協議を実施</p> <p>⑥・9月21日～34日（3泊） ・霊山大綱引保存会 17 名 霊山高等学校 12 名 計 29 名</p>	
⑦年度中間総括	おおむね順調に推移している。 下半期においても、上半期同様に目標達成できるよう努める。				
⑨年度末総括					